

2019Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 北九州ジュニアヨットクラブ 学年 中学2年 氏名 苗床 隆之介		
大会名	2019 OPTIMIST NORTH AMERICAN CHAMPIONSHIP		
開催地	BAHAMAS NASSAU		
大会期間	2019年 9月27日～10月4日		
セールNo	JPN3364	最終順位	123位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	昼と夜の温度差がなく、温かったためラッシュガードと短パンで十分だった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	大会期間中は基本東よりの風が吹いていた。予選シリーズでは風は5m～10mだった。決勝シリーズでは風は弱くなり、波が高かったためたたかれることがよくあった。
セッティングで注意したこと	風にあったラフのテンション。
セーリングで注意したこと	波にあった体の動き。
海上で練習したこと	他の国も参加した練習レースに参加した。風の振れの傾向など感じた。メキシコチームとスピードを比べた。
実際のスベリはどうか？	予選ではあまりフラットにできず、スピードがほかの国と比べて遅かった。決勝では風が弱く、波にたたかれ、船が止まることがよくあった。

スタートは、どうでしたか？	なかなか自由に出させてくれなかった。日本と違った点は走り始めるタイミングが海外の方があきらかに早かった。
コース戦略はどうでしたか？	よくスタートを失敗してしまい自分の思い通りにコースが引けなくなり、タックの回数が増えてしまうレースがほとんどだった。
自分より上位の選手との違いは？	強風の時はクローズで完璧に船がおこせているかのスピードの差で負けていたと思う。微風の時は波に当たって止まる回数が上位の選手は圧倒的に少なかった。
国内の練習で役立ったこと	ダウンウインドでパンピングなどをしっかり北九州で練習していたおかげで1マークを遅く回っても何人か抜くことができた。
国内の練習で足りなかったこと	スタートと強風時にしっかりフラットにするところ。
印象に残った外国選手は？	IRL1622 USA16953
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	クローズの時に角度をしっかりと取れる方法を見つけてきたのでもっと磨きたい。
今後の課題と目標は？	全日本ベスト8
JODAへの要望	なし
その他	たくさんの方々の支援のおかげで自分は頑張ることができました。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会